

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ソーシャルファーム設立と自立支援のための就労に係る事業
事業主体 (連絡先)	ソーシャルファーム松本自立支援センター。 (事務局) 松本市筑摩 1-11-20 上條ビル 2F (株)コミュニケーションズ・アイ内) TEL: 0263-29-2607 メール:sfm@comm-i.com
事業区分	(2)-③障害者、女性、若者の雇用促進、就労支援
事業タイプ	ソフト
総事業費	986,039円 (うち支援金: 777,000円)

事業内容

1、シンポジウムの開催

中間的就労の自立支援活動及びソーシャルファーム構想についての啓発シンポジウムを開催

「働きたいけど働けない 長野県の働く！を考えるシンポジウム」～人がよみがえる働き方と農林業～

【実施日時】平成26年12月21日(日)13:30～16:30

【参加人数】78名

【会場】松本勤労者福祉センター

【参加者アンケートより】「社会的弱者の居場所と出番作りのためには、ソーシャルファームは一つの選択肢となる。」
「初めてソーシャルファームの活動について知った。とても参考になり考えさせられた。」「社会の基底にある問題について考えることができた」等。



【シンポジウムの様子】

2、農林業体験講習会の実施

中間的就労の形を作るため、刑余者・障害者・自立困難な若者等に対し、農林業の作業技術の体験講座を実施。

【実施日時】平成26年11月 計4回

農業学科・実習 (松本市中山長芋収穫作業)

林業学科・実習 (松本市岡田財産区林業整備作業)

【対象】障害者、女性、刑余者等

【参加人数】

農業学科・実習: 12名

林業学科・実習: 22名

サポーター (7名)

【参加者の感想】「農林業に必要な技術を学ぶ場がない。」
「チェーンソー取扱技術等の安全技術講習が大変役に立った」等大変好評でした。講習後、建設業等に就労が決定した方や、自ら地域の農業のお手伝いをしている方もいらっしゃいます。



【芥子坊主山・林業体験の様子】

3、広報紙の作成

対象となる方への活動の周知、協力事業主やサポート会員募集のため、活動内容をまとめた広報紙を発行。

【発行】平成27年3月 【部数】5,000部



【中山そば振興会・農作業体験 (ながいも掘り) の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①②シンポジウムの開催には、更生保護に携わる方々や、農林業団体の方、一般の方等地域の様々な立場の方にご参加いただき、ソーシャルファームの先進事例や可能性に触れ、皆さまと共に自立や就労支援に関わる課題や根底の問題について共有し意識向上を図ることができました。

◇サポートメンバー H25 0名⇒H26 8名

◇協力団体の増加

③当事者の就労・収入増

◇当事者メンバー H25 0名⇒H26 7名

農作業体験では正しい技術習得と実体験により、コミュニケーション能力に困難を抱える方にとって入り易いものとなりました。取得した刈払い機取扱い資格等を生かした就労の場を設けることができました

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

対象とする方々がすぐに正規就労に足を踏み出すことは難しく、様々な中間的就労の形が必要だと考えます。本年度の活動を次に進めるため、平成27年度は、活動を春から開始し作業体験から就労実施へと段階を上げていく予定です。

さらに活動の場を広げ、農林業団体、組織、関係者との連携を深め、各農林業団体の抱える悩みをソーシャルファームで解決してゆけないか関係形成を進めていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

①協力雇用主の増加

目標年度 H26 対 H25 10%増

②協力会員の増加

目標年度 H26 対 H25 10%増

③当事者の就労・収入増

目標年度 H26 対 H25 10%増

※自己評価 **【A】**

【理由】

中間的就労の形を作る初年度として、計画していた各事業へ当初予定より多くの当事者の方にご参加いただき、また地域の皆様、協力団体との連携を深め、対象となる方の就労・収入にむけての基盤を作ることができました。